



## 「既存の枠にとらわれないとは？」

近年、文科省では他省庁と連携して、「アントレプレナーシップ教育」を推進しています。「アントレプレナーシップ教育」とは、主に大学生が「社会の課題を見つけ、解決する力や夢中になれることを仕事にする力を習得すること」をねらいとするアメリカ発の大学教育モデルだそうです。(参考：文科省アントレプレナーシップ人材育成プログラム運営事務局 HP)

これは学生を対象とした取組ですが、補習校の児童生徒も、既存の枠にとらわれず、自分なりの視点を持ち、思考し、行動し、自らの人生をたくましく切り開いていくためには当然ながら必要な力だと考えます。

補習校の限られた授業時間の中でこの教育に重点をおいて取り組むのは難しいですがそれでも教育活動の中で意識していかなければならないと考えました。

そこで例えば「既存の枠にとらわれない」ということを子どもに実感してもらうためにはどのような方法があるのかを考えてみました。「昭和」という枠にとらわれている私はできませんでした。答えを知っている方以外は挑戦してみてください。

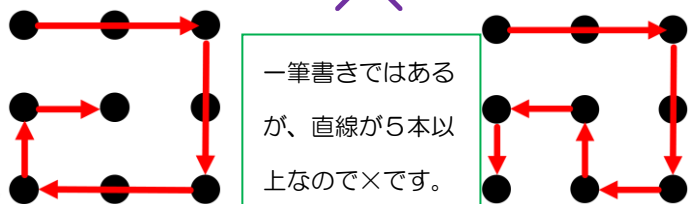
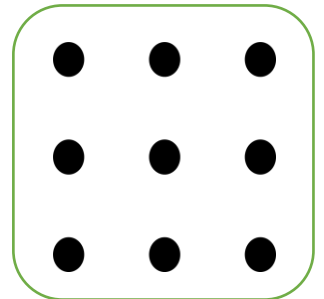
これからの  
子どもが  
必要とする能力



解答は次のページに記載  
しております。

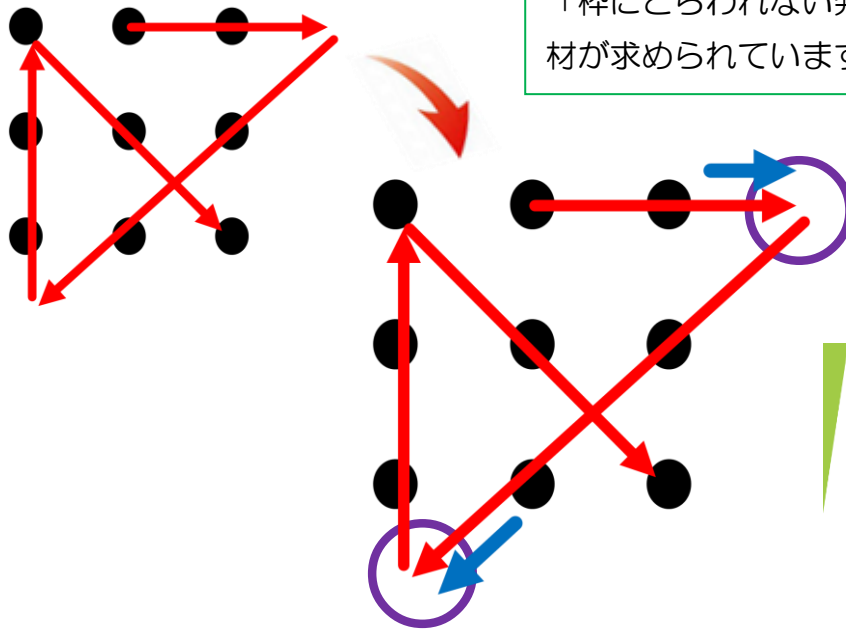
問題です！

1. 一筆書き (※曲線は×)
2. ●は1度しか通れません。
3. 直線は4本だけです。



一筆書きではある  
が、直線が5本以  
上なので×です。

正解は！



これからのグローバル社会では、「枠にとらわれない発想」ができる人材が求められています。

枠にとらわれない  
発想ができる人

私の感覚では補習校に通う子ども達は既にこの「枠にとらわれない」能力を持っている子どもが多いように感じます。日本古来の「和を以て尊しとなす」を大切にしながら、「枠にとらわれない」能力も忘れないでほしいです。(注意：この問題ができるか、できないかでは無いことをご理解ください。)

### 「3C」(楽しい、うれしい、素晴らしい)の紹介です。

「うれしい気持ち」を作文に表現することは「日本語が使ってうれしい」活動と言えるのではないのでしょうか。合格したときの気持ちがしっかりと伝わってきます。



私の黄色とグリーンのスキー板  
 中学部一年

私のお気に入り、十歳のとき、スキーの先生からいただいたスキー板です。

.....

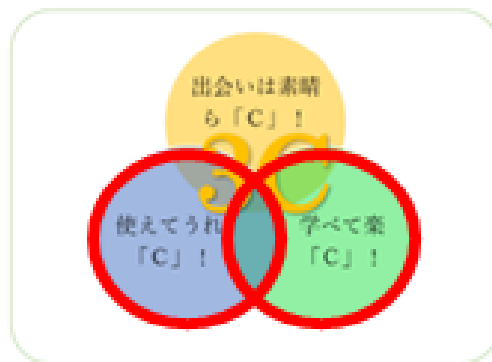
このスキー板.....検定に合格したときに使っていた特別な板です。

.....最後まであきらめずに頑張った結果、合格することができました。そのときの嬉しい気持ちは忘れられません。

今日のししひろばでしよくぶつを見つけました。大きさはおやゆびくらいでした。花の色は黄色でした。ほしみたいな形でした。二こ黄色い花がありました。花の中にたねがあるってきがつきました。とってもきれいでした。

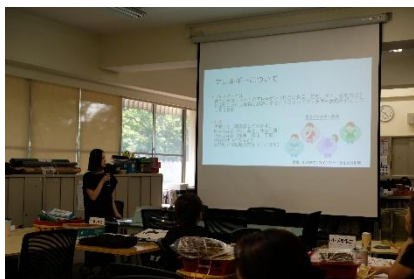
花の観察

小学部二年



たくさんの発見は、「学べて楽しい」活動と言えるのではないのでしょうか。また、発見したことを日本語で上手に表現することができます。「良く気付いたなー！」と感心しました。

## 子どものアレルギーに関する研修について



子どものアレルギーに関する最新の情報を知ることができて大変勉強になりました。

日時	2026年6月13日(土) 16:45-
場所	補習校職員室
講師	小谷陽香 氏 (ラッフルズ ジャパニーズクリニック 小児科医師)
内容	・子どもアレルギー反応を起こした場合の対処方法 ・エピペン(自己注射型アドレナリン製剤)やネフィー(点鼻型アドレナリン製剤)の使用法 など

※研修会の最後に「ラッフルズ ジャパニーズクリニック」は、小児発達外来も開設しているので、何かお子様の発達のことでお話したい保護者の方がいましたらお伝えください、とのお話がありました。パンフレットをお預かりしていますので詳細を知りたい方は補習校職員室にお立ち寄りください。